（公財）スズキ教育文化財団

令和４年度　事業報告

１．奨学事業

(1)　令和４年度　奨学生人数及び支給額

	当期実績		前期実績		当期計画	
	人数(内、新規)	支給額	人数	支給額	人数	支給額
高校奨学生	106 人(40 人)	25,240 千円	105 人	25,200 千円	108 人	25,920 千円
大学奨学生	19 人(6 人)	11,100 千円	18 人	10,800 千円	18 人	10,800 千円
計	125 人(46 人)	36,340 千円	123 人	36,000 千円	126 人	36,720 千円

(2)　奨学生募集及び選考状況

	募集対象	募集先	募集時期	募集人数	応募者人数	選考委員会開催日	選考人数
令和４年度 高校奨学生	高校 2,3 年生	県内高校 138 校	R4.4.1～ R4.4.30	11 人	22 人	R4.5.19	12 人※
令和５年度 高校奨学生	中学 3 年生	県内中学 287 校	R4.9.6～ R4.10.31	30 人	63 人	R4.11.17	32 人※
令和５年度 大学奨学生	高校 3 年生 高専 5 年生	県内高校及び 高等専門学校	R4.12.2～ R5.1.31	5 人	26 人	R5.2.16	5 人

※選外となった高校 2,3 年生 10 名並びに中学 3 年生 31 名には図書カードを支給。

(3)　授与式・懇親会について

奨学生認定証授与式並びに懇親会は、毎年、全奨学生や新規高校奨学生の引率教員に参加いただき開催しています。当期は当初 7 月 30 日に開催を予定しましたが、第 7 波のコロナ感染拡大により急遽 9 月 19 日に日程を変更しました。当日は前日の台風の影響で交通機関の乱れがあったものの久しぶりに大勢の方に参加をいただきました。

≪参加者≫　高校奨学生　48 名
大学奨学生　9 名
卒業生　4 名
引率教諭　14 名
来賓・財団関係者　15 名

計　90 名

(4)　令和４年度卒業生

卒業生の人数と進路

	大学進学	専門学校進学	就　職	大学院進学	進　級	不明	計
高校卒業生	30 人	4 人	4 人	―	―	1 人	39 人
大学卒業生	―	0 人	1 人	2 人	0 人	―	3 人

なお、高校奨学生には、当財団から理事長名の「祝詞（しゅくし)」と図書カード(5 千円/人)を贈りました。

(5)　静岡文化芸術大学奨学金

静岡文化芸術大学の学生に対し、一層の向学心向上を奨励し、成績優秀な学生の修学環境を整備することを目的として奨学金給付をしています。

令和 4 年度は、同大学の学部 3 年生 7 人に、返済不要の奨学金 1 人 30 万円を支給しました。

奨学生は、学部 1,2 年時に優秀な成績を修めた者を、各学科（国際文化学科 2 名、デザイン学科 3 名、文化政策学科及び芸術文化学科各 1 名）より推薦いただき、理事会承認を経て決定しています。

また、令和 3 年度に奨学金を支給した 7 人の内 6 人からは、令和 5 年 3 月の卒業時に成績証明書と卒業レポートの提出を受けました。（1 人は留学に伴う休学により、令和 6 年 3 月卒業予定。）

２．外国人学校支援事業

外国人就労者の子どもたちの学習環境を整えるため、浜松市西区雄踏町にある外国人学校「ムンド・デ・アレグリア学校」の支援をしています。

令和 4 年度は、同校の運営状況を勘案し 300 万円の資金援助を行いました。

３．特別支援学校支援事業

障害のある子どもたちが、スポーツや学習活動を通じてあらゆる可能性を見いだせるよう、静岡県内の特別支援学校 26 校の PTA に対し、児童・生徒が使用する物品 29 品(総額 2,842 万円、工事費等含む)を寄贈しました。

募 集 時 期：令和 4 年 6 月 15 日から令和 4 年 9 月 16 日

選考委員会：令和 4 年 10 月 18 日

また、特別支援学校における ICT 教育の促進支援を目的として、電子黒板 76 台（総額 2,257 万円、設置費等含む）を寄贈しました。なお、寄贈にあたり各学校に希望する機種や台数を募集したところ、32 校から 106 台（総額 3,424 万円）の応募があった為、各校既存の電子黒板と合わせ一台あたりの生徒数が近しい数字となるよう寄贈台数を調整しました。

(1)　令和 4 年度　希望物品並びに電子黒板寄贈結果

《希望物品寄贈結果》

地区(全学校数)	**当期実績**		前期実績	
	寄贈校数	**寄贈額**	寄贈校数	寄贈額
東部地区(14 校)	**9 校**	**8,413 千円**	11 校	9,425 千円
中部地区(11 校)	**7 校**	**6,569 千円**	7 校	10,876 千円
西部地区(14 校)	**10 校**	**13,441 千円**	12 校	10,357 千円
計(39 校)	**26 校**	**28,423 千円**	30 校	30,658 千円

《電子黒板寄贈結果》

支援種	寄贈校数	電子黒板寄贈台数(単位:台)				
		ディスプレイ型		プロジェクタ型		計
		55 インチ	65 インチ	設置あり	設置なし	
視覚	3 校	2	2			4
聴覚	3 校	1	1		2	4
知的･肢体	11 校	4	16	3	2	25
知的	10 校		20	9	4	33
肢体	4 校	3	4		1	8
肢体･病弱	1 校		2			2
計	32 校	10	45	12	9	76
1 台あたり単価(単位:円)		¥273,750	¥322,920	¥303,380	¥184,299	
寄贈計		**22,567 千円**				

※電子黒板 76 台の内 11 台(3,042 千円)は令和 5 年 4 月納品となります。

(2)　寄贈式並びに寄贈物品活用状況

寄贈式は、2 月 16 日にスズキ歴史館にて、寄贈先の校長並びにＰＴＡ会長に参加いただき開催しました。

≪参加者≫　学校関係　46 名
来賓、財団関係者　19 名
計 65 名

また、各学校に寄贈物品の活用状況を共有していただけるよう、「寄贈式」にて代表校に物品の活用状況を報告いただいた他、寄贈一年後と二年後には各学校より使用状況を報告いただき、それを「寄贈物品使用状況報告書」として冊子にまとめ、県内すべての特別支援学校に配布しました。

４．財団広報活動

奨学生の募集を学生本人のみならず保護者や関係者の方にも周知できるよう、奨学生募集ポスターを作成し、県内の中学校並びに高等学校に配布、さらに各奨学生の募集要項を「県民だより」に掲載しました。

また、広く財団の活動を紹介できるよう、リーフレットを作成しました。
リーフレットやポスターは、県内の教育委員会や社会福祉協議会等にも配布しています。

以上

令和 4 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため附属明細書は作成しません。